

令和3年度 渡島地区の研究活動

渡島小中学校長会 研修部副部長

北斗市立谷川小学校 福井 博志

1 はじめに

渡島小中学校長会は研究主題を「未来を切り拓き豊かな社会を創り出す日本人を育成する渡島小中学校教育」と設定し、「校長の在り方、かかわり方（関与性）」について研究を進めている。コロナ禍であるからこそ、子どもたち一人一人が未来を切り拓いていけるよう豊かな人間性と社会性を身に付け、心身ともにたくましく、豊かな社会を創り出していく力を育む教育を推進することが私たちの使命と考え、研究を進めている。



2 研究計画

(1) 研究主題・副主題 (第17期2か年継続研究 2年目)

「未来を切り拓き 豊かな社会を創り出す日本人を育成する渡島小中学校教育」
～ふるさとを愛し ともに支え合い 新しい時代を担う学校経営の推進～

(2) 研究課題および研究の視点

全会員が研究主題を自らの課題としてとらえることが大切であることから、渡島管内を3つのブロックに分け、研究課題を担当し、研究実践を行うとともに交流を図る。渡島小中学校長会研修部は、課題別研究として小学校部会と中学校部会に分かれて研究を推進し、道小・道中で発表をする。

<研究課題1> 「社会に開かれた教育課程」を進める学校づくりはどうあるべきか

【視点】 SDGsを取り入れたESDの推進と校長の在り方

<研究課題2> 「カリキュラム・マネジメント」を進める学校づくりはどうあるべきか

【視点】 教育課程の質の向上を図る教育課程の編成・実施・評価及び改善と校長の在り方

<研究課題3> 「主体的・対話的で深い学び」を進める学校づくりはどうあるべきか

【視点】 質の高い学びを実現し、求められる資質・能力を育成するための評価・改善と校長の在り方

<課題別研究1 (小学校)> 自立や共生の実現に向けた教育活動の推進と校長の在り方

【視点】 ・子どもの自立や社会参加に向けた特別支援教育の推進

・共に生きる社会の実現に向けた資質・能力を育む教育の推進

<課題別研究2 (中学校)> 健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを実現するための教育の充実

【視点】 ・スポーツとの多様な関わり方を選択、実践できる力の育成と体力の向上
・食育の推進と心身の健康の保持推進に関する指導の充実

3 研究活動の概要

(1) 令和3年度研修部通信の発行

研究推進のための手引きとして、研修部通信を発行し、全会員に配布する。

(2) 「第45回渡島小中学校長会研究大会」の開催

① 期日 令和3年8月6日(金)

② 会場 大沼国際セミナーハウス (七飯町字大沼町127-1)

③ 内容 *課題別研究(小中学校別) 「全道研」での提言発表

<小学校部会>

- ・提言主題「共生社会を目指す特別支援教育の視点を生かした明日へつなぐ学校経営を推進する校長の在り方」

・提言者 森町立鷺ノ木小学校 三上 幸喜

<中学校部会>

- ・提言主題「健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを実現するための教育の充実」

・提言者 鹿部町立鹿部中学校 後藤 正弘

- 提言を受けての部会別研究協議については、感染症対策強化のため、対面での協議を中止した。

*学校経営交流協議①

- ・テーマ 「学校経営における課題解決を目指す後継者の育成」

・講師 横山 佳彦氏

*学校経営交流協議②

- ・テーマ 「1年単位の变形労働時間制について」

・講師 北海道教育委員会 職員

(3) 第64回北海道小学校長会教育研究石狩・千歳大会の参加及び提言発表

<第12分科会> 「自立と共生」

提言者 森町立鷺ノ木小学校 三上 幸喜 (オンライン開催)

(4) 第63回北海道中学校長会研究大会宗谷・稚内大会の参加及び提言発表

<第3分科会> 「豊かな心と健やかな体を育む教育の充実」

提言者 鹿部町立鹿部中学校 後藤 正弘 (オンライン開催)

(5) ブロック別研究大会の開催

<研究課題1> 【第2ブロック: 北斗市・七飯町・鹿部町】

提言者 北斗市立茂辺地小中学校 星野 みさお

期日 令和3年11月8日(月)

会場 北斗市総合文化センター「かなで〜る」

<研究課題2> 【第3ブロック: 森町・八雲町・長万部町】

提言者 八雲町立落部小学校 本庄 伯幸

期日 令和3年11月30日(火)

会場 森町公民館

<研究課題3> 【第1ブロック: 松前町・福島町・知内町・木古内町】

提言者 松前町立小島小学校 佐々木 善貴

期日 令和3年11月15日(月)

会場 知内町中央公民館

- 各ブロックの提言については、他ブロックの会員がネット上で視聴できるよう取組を行った。

(6) 令和3年度 第45回渡島小中学校長会研究大会 研究紀要の発行

4 おわりに

渡島小中学校長会では、これまでの研修体制を更に強固なものにするため、昨年度1年間の討議を経て、研修諸事業の大幅な見直しを行った。その結果、例年11月に開催していた研究大会を8月に変更し、9月に行われる全道大会に向けて渡島全体として提言内容の精度を高めることができた。また、各ブロック研究大会が8月から11月開催へ変更となったことにより、各校での研究期間が長くなり、精度と妥当性が高い実践が展開されることとなった。